付録４

標　準　様　式

目　　次

１．精度管理表

様式第１―１　基準点測量精度管理表　その１……130
様式第１―１―１　基準点測量精度管理表　その１―２……131
様式第１―１―２　基準点測量精度管理表　その１―３……132
様式第１―２　基準点測量精度管理表　その２……133
様式第１―３　水準測量精度管理表……134
様式第１―４　細部測量・地形補備測量・地図編集・数値編集・現地補測・補測編集・
数値地形図データ作成精度管理表……135
様式第１―５　測量精度管理表……136
様式第１―６　縦断測量精度管理表……137
様式第１―７　横断測量精度管理表……138

２．品質評価表

様式第２―１　品質評価表（総括表）……140
様式第２―２　品質評価表（個別表）……141

３．成果等

様式第３―１　基準点成果表　その１……144
様式第３―２　基準点成果表　その２……145
様式第３―３　成果数値データファイル標準様式……146
様式第３－４　基準点現況調査報告書……147
様式第３－５　測量標設置位置通知書……148
様式第３－６　測量標新旧位置明細書……149

４．建標承諾書

様式第４―１　建標承諾書（基準点）……152
様式第４―２　建標承諾書（水準点）……153

１．精　度　管　理　表

様式第１－１

基準点測量精度管理表　　その１

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	㊞
目　的		期　間		作業量		主任技術者	㊞		

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算				偏心	再測数	厳密網平均計算				摘要
					水平位置		標高				単位重量の標準偏差	許容範囲	高低角の標準偏差	許容範囲	
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲							
										再測率					

点検測量									
測点番号	距離			水平角			鉛直角		
	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差

主要機器名称及び番号		
永久標識の種別等		
種別	数量	埋設様式
特記事項		

用紙の大きさはＡ４判とする。

基準点測量精度管理表　　その１－２

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	㊞
目　的		期　間		作業量		主任技術者	㊞		

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算				偏心	再測数	厳密網平均計算					摘要
					水平位置		標高				新点位置の標準偏差（m）					
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲			点番号	水平	許容範囲	標高	許容範囲	

点検測量									
測点番号	距離			水平角			鉛直角		
	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差

主要機器名称及び番号		
永久標識の種別等		
種別	数量	埋設様式
特記事項		

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第１―１―２

基準点測量精度管理表　　その１－３

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	㊞
目　的		期　間		作業量		主任技術者	㊞		

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算				偏心	再測数	厳密網平均計算					摘要
					水平位置		標高				新点位置の標準偏差（m）					
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲			点番号	水平	許容範囲	標高	許容範囲	

点検測量									
測点番号	距離			水平角			鉛直角		
	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差

簡易網平均計算						
各路線の偏差						
路線番号	方向角（″）	許容範囲（″）	座標差（cm）	許容範囲（cm）	高低差（cm）	許容範囲（cm）

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第１－２

基準点測量精度管理表　　その２

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	㊞
目　的		期　間		作業量		主任技術者	㊞		

基線解析辺			仮定三次元網平均						三次元網平均計算	
測点名		辺長（斜距離）	ΔX又は方位角		ΔY又は斜距離		ΔZ又は楕円体比高		斜距離の残差	
自：	至：		残差	許容範囲	残差	許容範囲	残差	許容範囲	残差	許容範囲

主要機器名称及び番号

永久標識の種別等		
種別	数量	埋設様式

特記事項

新点位置の標準偏差				
新点名	水平位置		標高	
	標準偏差	許容範囲	標準偏差	許容範囲

点検測量					
測点名		セッション番号		較差（dN,dE,dU）	許容範囲
自：	至：	点検値（ΔX,ΔY,ΔZ）	採用値（ΔX,ΔY,ΔZ）		

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第１－３

水準測量精度管理表

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	㊞
目的		期間		作業量		主任技術者	㊞		

環番号	距離	閉合差	許容範囲	観測者	距離	鎖部数	観測者毎標準偏差	正の回数	負の回数	零の回数	正の総和	負の総和	摘要	特記事項
			往復差から求めた全線の１㎞当たりの標準偏差							単位重量当たりの観測の標準偏差				

主要機器名称及び番号	観測路線図	再測率				
		点検測量				
		区間	距離	点検値	採用値	較差
永久標識種別等						

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第１－４

細部測量・地形補備測量・地図編集・数値編集
現地補測・補測編集・数値地形図データ作成　　精度管理表

作業名又は地区名	図名又は図面番号	縮　尺	作　業　量	作　業　期　間	作業機関名	主任技術者	社内検査者
				自　年　月　日 至　年　月　日		印	印

項目		脱落	誤記	項目		脱落	誤記	項目		脱落	誤記	項目		脱落	誤記
境界等(11**)	種類			公共施設	形状　(41**)			諸地(621*)	区域界形状			※整飾等	図名又は図面番号		
	形状			その他の小物体	記念碑等　(420*)				記号の種類				図郭及び方眼寸法		
道路(210*)	道路記号・道幅				消火栓　(421*)			場地 622*, 3*	記号の種類				座標値等		
	形状				噴水・井戸(422*)				記号の位置				概見図行政区画図		
道路施設	橋　(220*)				ﾀﾝｸ・高塔　(423*)			植生(63**)	植生界等形状				方位		
	階段・ﾄﾝﾈﾙ　(221*)				灯台　(424*)				植生記号の種類				図歴等		
	構造物　(222*)				観測所　(425*)			等高線(71**)	形状				その他		
	側溝・並木(223*)				輸送管　(426*)				数値			接　合			
	道路標識等(224*)			水部	形状　(51**)			変形地(72**)	種類						
	付属物(22 5*, 6*)			水部構造物	桟橋　(520*)				形状						
鉄道(23**)	記号及び軌道幅				護岸　(521*)			基準点(73**)	位置・種類						
	形状				滝・水門　(522*)				数値						
鉄道施設	橋・ﾄﾝﾈﾙ(240*, 1*)				水制　(523*)			注記	行政名						
	雪覆い等　(242*)				流水方向　(524*)				居住地名						
建物(30**)	種類				距離標　(525*)				交通施設						
	形状			法面	人工斜面　(610*)				建物等						
建物付属物　(34**)					被覆　(611*)				小物体						
建物記号(35**)	種類				法面保護　(612*)				水部等						
	位置			構囲	さく　(613*)				土地利用						
公共施設	種類				へい　(614*)				地形等						

注 1. 各工程作業ごとに、該当する項目を選んで図面単位に作成する。該当しない項目欄には斜線で抹消する。
2. 各項目の脱落、誤記等は点検紙に基づいて集計し、その個数を記載する。
3. ※印欄は、細部測量、地形補備測量及び現地補測作業の場合記載しない。
4. (****)は、取得分類コードを示す。

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第１－５

〔　　〕測　量　精　度　管　理　表

作業名		地　区		計画機関		作 業 機 関		点検者	印
路線名		期　間	自　　至	作 業 量		主任技術者	印	その他	

測　点	水 平 位 置（距 離）				摘　要	測　点	水 平 位 置（距 離）				摘　要
	計算値	測定値	較　差	許容範囲			計算値	測定値	較　差	許容範囲	

用紙の大きさはA４判とする。
注　該当する測量名を〔　　〕に記入する。

様式第１－６

縦 断 測 量 精 度 管 理 表

作業名		地　区		計画機関		作業機関		点検者	印
路線名		期　間	自　　至	作 業 量		主任技術者	印	その他	

路線番号	距　　離	閉 合 差	許容範囲	摘　　要	路線番号	距　　離	閉 合 差	許容範囲	摘　　要	観測者
										主要機器の名称及び番号
										レベル
										標尺（箱尺）
										手簿、計算簿の誤りの有無
										再測率％

用紙の大きさはA４判とする。

横断測量精度管理表

作業名		地区		計画機関		作業機関		点検者	
路線名		期間	自　　至	作業量		主任技術者		その他	

測点	水平位置（距離）								標高												摘要
	測定値		検測値		較差		許容範囲		測定値		検測値		較差		許容範囲						
	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側					
																					手簿、計算簿の誤りの有無
																					使用与点の異常の有無

用紙の大きさはＡ４判とする。

２．品　質　評　価　表

各測量共通

様式第２－１

品質評価表　総括表

製品名	タイトル（製品を表す名称）		
ライセンス	著作権がある場合は組織名称	作成時期	作成年月日
作成者	本製品を作成する組織名称	座標系	利用した座標系
領域又は地名	地理範囲（作成地域）	検査実施者	組織名称、役職名称、個人名称

番号	データ品質適用範囲	品質要求					品質評価結果（合否）
		完全性	論　理 一貫性	位　置 正確度	時　間 正確度	主　題 正確度	

【参考】

・空間データ製品仕様書作成マニュアル JPGIS 版 Ver.1.0　H17.3　国土地理院

・空間データ品質評価に関するガイドライン　品質評価手順書　Ver.1.0　H16.3 地理情報標準普及・利用推進委員会、国土地理院

・JMP2.0　仕様書　国土地理院

・品質の要求、評価及び報告のための規則　Ver.1.0　H19.3（一部改定）　国土地理院

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第２－２

品質評価表　個別表

データ品質適用範囲				
品質要素		品質要求	品質評価方法	品質評価結果
完全性	過剰			
	漏れ			
論　理 一貫性	書式一貫性			
	概念一貫性			
	定義域一貫性			
	位相一貫性			
位　置 正確度	絶対又は外部 正確度			
	相対又は内部 正確度			
	ｸﾞﾘｯﾄﾞﾃﾞｰﾀ位置 正確度			
時　間 正確度	時間測定正確度			
	時間一貫性			
	時間妥当性			
主　題 正確度	分類の正しさ			
	非定量的属性の 正しさ			
	定量的属性の正 確度			

1.データ品質適用範囲は、品質評価の対象とするデータの内容又は範囲を記述する。
（地物の名称等データの特性や空間的な範囲、時間範囲を指定する。）
2.品質要求は、製品仕様書に記述されている品質要件の概要を記述する。
3.品質評価方法は、製品仕様書に記述されている品質評価方法の概要を記述する。
4.品質評価結果は、品質評価方法に基づいた評価結果を記述する。

用紙の大きさはＡ４判とする。

３．成　果　等

様式第３－１

基準点成果表　その１

世界測地系（測地成果 2011）
調製　　年　　月　　日

基　準　点　成　果　表

（AREA　　）

B	X
L	Y
N	H ジオイド高 柱石長 縮尺係数

視準点の名称	平均方向角	距　　離	備　　考
		m	

埋標型式	地　　上	地　　下	屋　　上	標　識 番　号	標　石 金属標	

用紙の大きさはＡ４判とする。

基準点成果表　その２

世界測地系（測地成果 2011）

等級：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　調製　　年　　月　　日

点の番号	X	Y	辺長 S	方向角 T	標高 H	ジオイド高
	m .	m .	m	°　′　″	m .	m .
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.		―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.	.	―　―	.	.
	.	.			.	.

座標系：　　　　縮尺係数：　　　　網平均計算の種類：

注　号線（１）より順に記載し、号線が変わるごとに１行あけて次の号線を記載する。

用紙の大きさはＡ４判とする。

成果数値データファイル標準様式

レコード長　　128 バイト以下を標準とする。
ファイル形式　　１行１レコードの MS-DOS テキストファイルとする。
漢字コード　　シフト JIS コードとする。

レコード記述方法
記述方法
・レコードの先頭には１レコードごとにデータ区分を記入する。
・項目は「 ,」(カンマ)によって区切るものとする。(カンマセパレート形式)
・項目を省略する場合は、「,,」とする。
・レコードの終わり「,」(カンマ)とし改行する。
記述内容
１)説明文
データ区分：Z00 ～ Z02
内　　容： 作業内容のコメントを記載する。
00　作業区分：新設、改算による座標変換、改測による座標変換
01　作業年度、作業地域、基準点区分
02　測地系： 0（世界測地系)、1（日本測地系）
02　平面直角座標系
２）開始データ
データ区分： A00（基準点)、S00（水準点）
内　　容： 成果表データの開始フラッグ
３）データ
データ区分： A01（基準点)、S01（水準点）
内　　容：点番号、点名称、緯度、経度、Ｘ座標、Ｙ座標、座標系、標高、ジオイド高
①点番号：基準点は５桁の整数を標準とする。
水準点１１桁の整数を標準とする。
②名　称：４０バイト以下
③緯　度：小数点形式とし秒以下４桁とする。(DD°.MM′SS″SSSS)
④経　度：小数点形式とし秒以下４桁とする。(DDD°.MM′SS″SSSS)
⑤Ｘ座標：小数点形式、ｍ単位としｍ以下３桁までとする。
水準点は、小数点形式、ｍ単位としｍ以下１桁までとする。
⑥Ｙ座標：小数点形式、ｍ単位としｍ以下３桁までとする。
水準点は、小数点形式、ｍ単位としｍ以下１桁までとする。
⑦座標系：平面直角座標系
⑧標　高：小数点形式、ｍ単位としｍ以下３桁までとする。
水準点は、小数点形式、ｍ単位としｍ以下４桁までとする。
⑨ジオイド高：小数点型式、ｍ単位としｍ以下３桁までとする。
４）データの終了
データ区分： A99（基準点)、S99（水準点）
内　　容： 成果表データの終了フラッグ

様式第３－４

基　準　点　現　況　調　査　報　告　書

作　業　名

自：　年　　月　　日

調査年月日　　日間　作業機関名

至：　年　　月　　日　調　査　者　　印

1/2.5万 図 名	級 種類	番号	名　称 (番号)	所　在　地 (市町村名)	現況区分	現況地目	備　　考
日詰	Ⅲ△	是(3)	白山	○○市	正常		

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第３－５

測　量　標　設　置　位　置　通　知　書

点			所　在　地	地目	標　識		設置年月日	備　考
級	番　号	名　称			種　類	番　号		
			○○県○○郡○○町○○字○○２４６－８					

用紙の大きさはＡ４判とする。

様式第３－６

測　量　標　新　旧　位　置　明　細　書

作業区分	級種別	番号・名称		所在地	地目	敷地面積	復旧を行った理由	設置年月日	備考
移転	Ⅲ△	冠(○)○○	新	○○県○○郡○○町○○字○○２４６－８	○○○		測量標効用保全のため	H 12.6.21	
			旧	○○県○○郡○○町○○字○○３７	○○			S 26.9.15	
			新						
			旧						
			新						
			旧						
			新						
			旧						
			新						
			旧						
			新						
			旧						

作業区分覧には移転、改埋、再設または廃棄の区分を記載する。
用紙の大きさはＡ４判とする。

４．建 標 承 諾 書

様式第４－１

建　標　承　諾　書

平成　　年　　月　　日

殿

所有者　住所

管理者　氏名　　印

	等　級	名　　称	標 識 番 号
基　準　点	級		

	都道府県	市　　郡	町　　村	大　　字	字	番　　地	俗　　称	地　　目
所在地								

上記　　地内に　　級　　点の標識を

設置することを承諾する。

用紙の大きさはＡ４判とする。

注１．この標識は○　　○で設置したもので各種測量の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり、破損したり、しないようご注意願います。
２．なお、記載内容は、測量標の利用者が所在地及び所有者を確認するために必要となる測量記録（点の記）に記載されます。
３．不要の文字は抹消すること。

様式第４－２

建　標　承　諾　書

平成　　年　　月　　日

殿

所有者　住所

管理者　氏名　　印

	等　級	名　　称	標 識 番 号
水　準　点	級		

	都道府県	市　　郡	町　　村	大　　字	字	番　　地	俗　　称	地　　目
所在地								

上記　　地内に　　級　　点の標識を

設置することを承諾する。

用紙の大きさはＡ４判とする。

注１．この標識は○　　○で設置したもので各種測量の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり、破損したり、しないようご注意願います。
２．なお、記載内容は、測量標の利用者が所在地及び所有者を確認するために必要となる測量記録（点の記）に記載されます。
３．不要の文字は抹消すること。